

情報通信審議会 情報通信技術分科会

IP ネットワーク設備委員会

安全・信頼性検討作業班（第4回）議事録抄

1 日 時

平成 18 年 11 月 27 日（月） 14 時 00 分 ～ 15 時 20 分

2 場 所

総務省 1101 会議室

3 出席者（敬称略）

（1）構成員

相田仁（主任）、井手正広、稲田晃典（代理：岡田淳）、
永楽昌大（代理：松岡諭吾）、榎本洋一、雄川一彦（代理：北口隆也）、
笠井康伸、倉澤聡、久留島豊、齋藤保夫、高村幸二、東方幸雄、中西廉、
萩原隆幸、平原正樹、益田淳、松本隆、三膳孝通、茂木克之、持麿裕之
（以上 20 名）

（2）事務局（総合通信基盤局電気通信事業部電気通信技術システム課）

渡辺電気通信技術システム課長、萩原同課課長補佐、渡辺同課主査

4 議 事（敬称略）

（1）アンケートの取りまとめについて

事務局より資料安作 4-2 に基づき、アンケートの検討課題の全体像について説明後、資料安作 4-3 に基づき、第 3 回会合で提案したアンケートの結果について説明があった。

【主な議論の内容】

相田主任：

資料安作 4-2 に挙げられている課題項目は、重要インフラの安全基準の構成に合わせていることだが、情報漏えいやサイバーテロが中心になっている気がする。重要インフラの安全基準は、どのような背景・目的で作られたのか。

事務局：

情報セキュリティの脅威が大きな問題になっていることは、新聞などで報道されているのでご存じのとおり。情報システムは、水道・ガスなど色々な公共分野の基盤として使用されている。もし、それらの情報システムに障害が発生した場合、それぞれが行っている事業に大きな影響を与える。従って、各事業分野毎に、ネットワークや端末装置までを含めた情報システム全般のセキュリティを確保するため、安全基準の検討がスタートしたと認識している。情報セキュリティの捉え方は、その議論の過程で変化してきたと聞いている。当初はサイバー攻撃がメインに据えられていたが、途中からかなり広い意味で使われるようになってきた。資料安作4-2のようにまとめると、領域的には小さく見えるが、例えば、「故障・災害等IT障害に対する責任体制・管理体制の整備」など、サイバー攻撃に限らず、情報セキュリティをかなり幅広く捉えている。情報通信分野は、そのものが、社会インフラであると同時に、他の社会インフラを支える基盤でもある。従って、情報通信分野は、安全基準の策定や、業界毎の情報共有するセプターの仕組み作りなど期待されているところが大きい。

相田主任：

結果的にはカバーしていると思うが、前回、前々回の事業者からのプレゼンなどで、事故・障害の原因は、ヒューマンエラーやソフトウェアの不具合がかなり大きな部分を占めているとあった。それに比べると、サイバー攻撃対策などの項目が多くて、目立ってしまっている気がする。

(2) アンケートの提案について

事務局より、資料安作4-4に基づき、提出された検討課題に対して、検討の方向性を問うアンケートの提案があった。

【主な議論の内容】

相田主任：

アンケートの回答内容を整理すると、まず、検討課題の項目について追加修正等あれば挙げていただく。次に、検討の方向性の項目に、既に他の国際機関や官公庁の中にある安全基準などで、それを参照すれば良いというものがある場合は、それを挙げていただく。さらに、今後新たに総務省で告示を作る、TTCでガイドラインを作るなどした方がよいなど、どこで、どういう形で対応していく方が良いのかを挙げていただく。だいたいその3つと違ってよいか。

事務局：

記入例では、ガイドラインが検討課題なので、このように書いているが、例えば、検討課題がこういった設備を配備や整備しなさいという項目の場合、具体的な対応策を記入頂きたい。つまり、検討課題を具体的にどうした方が良いかを回答して頂きたいというのが今回のアンケートの趣旨である。今回、記入例があまり良くないので、再度提示したいと思う。

三膳：

具体的にどのように書いたらよいか。例えば、資料安作4-3の12ページの「入出者の限定、出入管理の導入」は、既の実施しているので、検討課題に挙げられると困る。このような場合はどうすればよいか。

事務局：

検討課題は、皆様から提案頂いた項目をまとめたものなので、提案した方は、問題意識を持っていると思うが、今回のアンケートでは、ネットワークのIP化が進展する中で、今後新たに対策が必要となったり、これまでと違う対策が必要であれば、その内容を具体的に提案して頂きたい。

三膳：

例えば、これは現状でカバーされていると書いても良いのか。

事務局：

かまわない。今の状況で十分だという項目もあると思う。色々なご意見を頂きたいと思う。

相田主任：

今回の検討課題は、皆様から頂いた意見を単に集めただけなので、大多数の人にとっては検討に値しないような項目も入っているかもしれない。このアンケートにより、本作業班で、検討の必要がある項目を絞り込んでいくということだと思う。

益田：

関連して、この場には事業者、ベンダーの方などがいるが、それぞれの立場で、これらの項目を見たときに、会社ごとに、ベストエフォートでできているものや、明確に決めて実施しているものもあると思う。本作業班では、最低限ここまでやるべきだということを、あわせようとするのか、しないのか。

事務局：

ガイドライン化、あるいは、省令に反映していく話など最低限あわせる項目は、最低限のレベルの共通認識を持つ必要がある。しかし、それだけに限定するわけではなく、業界毎にあるいは事業者のサービス毎に特化した

必要な対策、あるいは課題について、提案して頂きたいと思う。特に、皆で取り組むべき課題のみに絞っていく意識ではない。

(3) 委員会への報告について

事務局より、12月4日開催予定のIPネットワーク委員会での安全・信頼性検討作業班の報告案について説明があり、資料安作4-2、資料安作4-5に沿って報告することが承認された。

(4) その他

事務局より、資料安作4-6に基づき、安全・信頼性検討作業班の当面の予定として、第5回を1月上旬～中旬に開催する旨の説明があった。

<配付資料>

【資料番号】	【配付資料】	【提出元】
資料安作4-1	安全・信頼性検討作業班(第3回)議事録抄(案)	事務局
資料安作4-2	情報通信ネットワークの安全・信頼性確保のための検討課題	事務局
資料安作4-3	アンケート回答のとりまとめ	事務局
資料安作4-4	安全・信頼性検討作業班アンケート(課題の検討の方向性)実施要領	事務局
資料安作4-5	安全・信頼性検討作業班の審議経過報告(案)	事務局
資料安作4-6	安全・信頼性検討作業班当面の予定(案)	事務局